

## 施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード | II-4-(1)

政策体系	施策名	地域の元気を創造する取り組み	所管部局名	企画振興部	長期総合計画(プラン2005)頁	103
	政策名	元気あふれる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	旧町村地域等の振興事業の実施	地域の元気をつくる取り組み	地域を磨く取り組み

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125		
i	旧町村・過疎地域振興のための事業件数(件)	①②③	H17	20	63	76	120.6%							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	各振興局が地域住民などと協働し、地域の多様な資源を活かした新たな事業が展開されたため、目標値を達成した。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・世話役を期待される集落支援員等の設置促進と併せ、地域の実情に即した対策を実施した。
②	・研修会の実施やガイドブックの作成により、地域の農山漁村ツーリズムの活動を支援した。
③	・各振興局における優れた取組を共有する相互事業検証や担当者の資質向上を図る財務諸表研修会を実施し、より効果的に事業を推進した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	小規模集落・里のくらし支援事業	85,312	A
	くらしの和づくり応援事業	57,150	A
②	ツーリズム戦略総合対策事業	116,935	A
③	地域活力づくり総合補助金	573,434	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第1回大分県新長期総合計画策定県民会議(H27.5)  
 ・都会で定年退職を迎えた人やこれから迎える人たちを故郷に帰す仕組みをつくるのが大事。高い技術を持っている人がおり、帰ってきて新たな産業を興したり、地域の再生を目指す仕組みを人口問題の中で取り組むべきではないか。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	・市町村や地域で活用している企業などと連携して、くらしの和づくり応援事業など集落ネットワークの構築を支援する取組を進めた結果、県内各地で、集落の特徴を生かしたネットワーク・コミュニティの形成が進みつつある。 ・今後も、できる限り住み慣れた地域に住み続けたいという住民の希望を叶えるよう、地域活力づくり総合補助金などによる地域課題の解決につながる取り組みへの支援を行うとともに、小規模集落・里のくらし支援事業では、H28年度から実施する集落実態調査を活用した住民主体の計画的な事業実施を推進する。